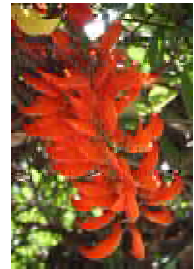


Easter Village

イースタービレッジだより 第54号



ハン・チョンス神父と子どもたち

イースタービレッジ訪問記

ハン・チョンス神父

「主の平和が皆さんと共に」

昨年3月に宣教司祭として韓国から日本の札幌教区に参りました。皆さんのおかげで、喜んで司牧しております。今回、フィリピンのイースタービレッジについて話を聞いて、直接、祐川神父様と共に訪問し、可愛い友達に会えました。皆がみな、最初から笑顔で、暖かく迎えてくださって、心から感謝いたします。

この子どもたちは、何も持っていないで、十字架の上におられるイエス様の姿と似ています。神様はこの泣いている子どもたちにイエス様とお父さんになるため、祐川神父様をここに送ってくださったと思います。

それでいつも主の平和のうちに皆、子どもたちが笑顔で神様に感謝し、嬉しく、日々を過ごしております。この満たされている喜びと平和は、復活されたイエス様が与えてくださる特別なプレゼントだと思えます。私もこのすべての人々が嬉しく、信仰生活することを見て、とても神様に感謝しながら、多くのことを考えるようになりました。

イースタービレッジに来て、たとえ短い時間でも、この小さな友達から本当に大きな喜びと平和を頂いて、ここでそのままと一緒にいたいという考えがでてきました。皆さんにもいつもめぐみが溢れているイースタービレッジの平和がありますよう、お祈りいたします。

親愛なる祐川神父様、そして、イースタービレッジの皆さん、どうもありがとうございます。ここでの経験は決して忘れません。また、会いましょう。また、参ります。さようなら。

子どもたちの動き

6月から新学期が始まりました。4月からの2ヶ月の夏休みの間、ビレッジに滞在していたジェン（11）とジナ（8）が政府立の施設に移ることになりました。それぞれの子どもたちのケースによってよりふさわしい施設に移るのは、こちらでは一般的です。ビレッジに二人の姉妹はわずか二ヶ月の滞在でした。



担当のソーシャルワーカーと

EVの新学期始動

6月の新学期に備えて、毎年学校に通うためのカバンや文房具などを配給します。寄付で頂いたものなどを上手に人数分に分けて、みんなに配ります。新しいカバンや文房具をもらって子どもたちも

新たな気持ちで学校に通い、勉強します。



6月13日、学校初日です。



真新しい文房具を配られるホームの子どもたち

分かち合いの文化

日本では誕生日は、どちらかといえばお祝いしてもらうものですが、フィリピンでは、お祝いするものです。つまり、誕生日を迎える人が食事などを準備して、家族や友人とお祝いするのです。ですから、市長や校長など社会的地位の高い人たちの誕生日は盛大です。逆に準備できない貧しい人たちは、こじんまりと祝うことになります。ただ、フィリピンには、分かち合いの文化」と呼ぶにふさわしいものがあり、自分や子ども、孫などの誕生日を貧しい人たちと共に祝う良い習慣があります。イースタービレッジで誕生日のお祝いをしてくれた三家族をご紹介します。最初にガルが家族の娘ミエルちゃんの5歳の誕生日。



誕生日のお祝いは、みんなで歌を歌い、食事を共にする交流の機会でもあります。食物と時間の分かち合いです。



パースデイケーキを囲んでハッピーバースデーの歌を歌います。

6月22日に5歳の誕生日をビレッジでお祝いしてくれました。
もう一家族はシナン家族です。
インド人の一家でダバオ市在住家族です。いつもはダバオの施設で誕生日をお祝いしていましたが、キダパワンでの仕事が長くなったため、キダパワンの施設を探していました。そこで今年はイースタービレッジで誕生日をお祝いすることになりました。娘のマンレズちゃん(2)の誕生日のお祝いでした。日用品やフィリピンでは大事なウォーターサーバー(給水器)をプレゼントしてくれました。

最後に、毎年必ずお祝いしてくれるエスピーニヤ家の人たちです。今回は弁護士をしているお母さんデイナさんの誕生日祝いをしてくれました。いつもとても美味しい食事を準備してくれます。ありがとうございます。



願いごとと共にロウソクの火を消します

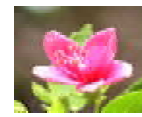
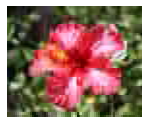
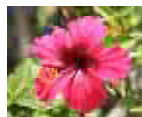


ご寄付頂いた方々、
心より御礼申し上げます。

西村照子 カトリック円山教会
佐藤克洋 上野祐子
カトリック北26条教会
梅津淑子 黒田道子 江口克文
山本悟郎 株式会社リモウ
永田淑子 中村吾郎 鶴田幸子
石川雄治 高島正人 安藤佐智子
安部裕美 笠松博子 祐川真一
平田敦子 阿部秀子
カトリック月寒教会・ケーキ部
宗教法人 お告げのマリア修道会
久川要 山本悟郎・蓉子 大竹紀子
棚川伊知郎 西川哲彌 栗原弥恵
吉田設子 山岡安江 尾森京子
浅野直 扇谷ウタ子 阿部和男
阿部和加子 上野祐子
札幌インナーホールクラブ(会長・八木友美)
雪田留美子 小野幾子 根津将大
末沢史 角田カトリック幼稚園
永井幸雄 カトリック山鼻教会ホビーの会
佐藤克洋 清水恵子 宮田敏夫・ゆかり
早瀬慶四郎 金子剛之 小樽あすみ
榎本みつ枝 本田修二・メルス
子供の未来を育てる会・竹井博康
その他匿名の方々

(敬称略・順不同)

2016年6月3日～8月4日



EVの昨日今日

スリガオの奨学生

今年で4年目になる南スリガオ州のクラスカル町にあるクラスカル高校へのイースタービレッジ奨学金を受け取っている学生たちから、お礼と写真が届きました。



22名の奨学生がビレッジの奨学金で高校へ通っています

シンガポールからのプレゼント

定期的にシンガポールからイースタービレッジに大きなダンボール箱が届きます。アリス・リーさんを中

心とするグループがフィリピンなどのアジアの児童養護施設へ古着や本や文房具などを送る活動をしています。大切にに使わせていただきます。



シンガポールからの贈呈品、ありがたいです

佐藤宝倉神父さんの訪問

イースタービレッジの始まりからずっと見守って来てくれたフランススコ会司祭の佐藤宝倉神父さんが、久しぶりに訪ねてくれました。

フィリピン・アシジの聖フランシスコ・デフ・センター（P S F

A D C）を主宰する佐藤宝倉神父さんは、マニラに拠点を置きながら、地方のろう者の育成、手話通訳者の養成に務めるNGOの活動をしています。いつものように、EVでは得意の料理を披露し、みんなに振る舞ってくれました。



当初すき焼きの予定が急遽変更、中庭でバーベキュー大会に



左から奨学生のセサルとガマイ



御存知、左からベルナ、エリサ姉妹

ハン神父さんの訪問

巻頭言にも書いて頂きましたが、韓国から札幌教区への宣教師として来札中のハン・チョンス神父が、イースタービレッジを訪ねてくれました。

韓国には16の教区があります。その中で一番新しく10年前にソウル大司教区から別れたウイジョンブ（議政府）教区の司祭です。この教区には200人の司祭があり、その1割は外国宣教に派遣されています。札幌教区ではソン神父に続いて二人目の韓国出身の宣教師です。新しい時代に向けてアジアとの連帯の中で福音宣教を發展させたいものです。



ビレッジのミサの侍者や奉仕者たちと

ある結婚式のこと

キダパワン出身のマリア・マーガレットさんとジユン・ポールさんの結婚式がダバオの聖フランシスコ・アシジ教会で行われました。披露宴はダバオ市内を一望できる場所、大勢の人たちに祝福されていました。

花嫁のお父さんは弁護士で、孫がビレッジの幼稚園に入っていた関係もあり、自分の娘の結婚式にあたり、私たちを招待してくれました。また、新郎新婦へのお祝い



ビレッジのミサの中で子どもたちにはわかり易く英語で説教してくれました。カムサハムニダ。

金を全額イースタービレッジに寄付したいという意向を示してくださいました。

8月9日、ハン神父と共に結婚式と披露宴に参加してきました。実に華やかな披露宴でした。新郎新婦としての初めてのダンスを披露している時に、招待客は封筒に現金や小切手を入れて箱の中に入れるというやり方でした。披露宴の最後の方で、寄付金授与式があり、ありがたく頂戴してきました。



両家、友人、ニノン・ニナン（代父母）など大勢が参加



ダバオを一望できるThe Viewという場所で

誕生日おめでとう

6月、7月生まればたくさんいます。10日に16歳になったアボ、21歳になったガマイは共にスイミングプールに行った時に祝いました。



左からアボ、ガマイ

マージェイラは7月30日に7歳の誕生日を迎えました。0歳からビレッジで誕生日をお祝っています。



マージェイラは0歳からビレッジにおり、7回目の誕生日。小学2年生になりました

マージェイラと同じ7月30日はもう一人、エディリンこと歌姫のビビの誕生日です。21歳になりました。同時に7月10日で18歳になったジョイの誕生日もお祝いました。スリガオからこ



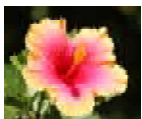
ILの子どもたちの誕生日祝いはホームと違い、食べ物も大人向けになっています。



らに来てもう3年にもなります。IL(大きな子どもたち)プログラムの子どもたちはホームとは別にお祝っています。

Thanks to you!

ありがとう



Easter Village の待望の 1 st アルバム好評発売中！

今回、子どもたちの中にある秘めた思いや、心から湧き出すメロディーを多くの恩人に届けようと、作詞、作曲を全員に課しました。最初は恥ずかしながらも「鼻歌」を持ち寄り、それをもとに肉付けをする形で、予想以上に素晴らしい詩とメロディーが生まれてきたことに驚いています。

イースタービレッジ・ディレクター 祐川 郁生

バナナ
パイ
マン
グスティン

いろいろな味があるように
僕らもみんな違うのだけど

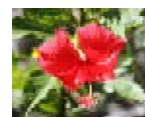
共に歌えばしあわせさ

(「虹」の一節より)



Easter Village のオリジナル 4 曲
勝谷太治司教のオリジナル 2 曲を含む
計 10 曲を収録。

01. Easter Village Song
02. Amahan namo (主の祈り)
03. キリストの平和
04. 喜びの知らせ
05. Salamat sayo!
06. 日常～サミーのギターにのせて～
07. Salamat Sa Tanan
08. 君の心に
09. 虹 Niji
10. My life



受付・問い合わせ

カトリック月寒教会 CD アルバム係り

〒003-0021

札幌市白石区栄通 2 丁目 11 16

電話 (001)851-2032

Fax (001)851-2044





暑中お見舞い申し上げます

<支援のお願い>

フィリピン南部にあるイースタービレッジ・ミンダナオは善意ある日本の皆様に支えられています。貧困と紛争の犠牲者となっている声なき子どもたちを私たちが支え、そして彼ら自身が自立し、貧困と紛争の原因を取り除く平和の使者となるようにできるだけ援助をしたいと考えています。与える以上に受けるものの方が本当はもっと多いのです。援助をくださる方は下記事務局にご連絡くださいませ。

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」(支援者募集)

代 表 勝谷 太治 事務局 西田 淳子 松川 厚明

060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10 カトリック札幌司教館内

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」事務局

011-241-2785 Fax 011-221-3668

支援金 : 年会費一口 ¥5,000 (一口以上) 一般寄付

郵便振替口座番号: 0 2 7 6 0 - 3 - 3 9 4 7 3

口座名称: イースタービレッジ・ミンダナオを支える会

現地事務所: EASTER VILLAGE OFFICE

Riverpark Subd., Kidapawan City 9400 Cotabato Philippines

Tel: 63-64-577-4742 Fax: 577-3118 Email: info@eastervillage.com

Website: <http://eastervillage.com>

* 会員、並びに奨学生を支えて下さっているスポンサーの方々、一般のご寄付を下さった方々には継続してこのたよりを送らせていただきます。(年四回)



2016 年 9 月

「イースタービレッジだより第54号」

発行責任者: 祐川郁生

